

第6回 清瀬市長期総合計画策定審議会

1 開催日時

令和7年7月16日（水）18時00分から20時00分まで

2 場所

清瀬市役所3階 庁議室

3 会議内容

(1) 開会

(2) 施策及び施策の方向性について（将来像3、4）

事務局から、第5回会議の資料を修正した資料1-1、1-2提示し、追加の意見等があるか確認したが、追加の意見等は無かった。

(3) 施策及び施策の方向性について（将来像1、2）

事務局から資料2-1、2-2について説明し、以下のとおり各委員から意見があった。

ア 基本目標「誰一人取り残さない支援の充実」については、高齢者や障害者のことが書かれているが、「誰一人取り残さない」のであれば、子育て世代の若者のことも記載するべきだと思う。

事務局 子育て世代などの若者に向けた施策は他の基本目標にて記載している。

イ 施策111の「高齢者等の支援」の「等」には何が含まれているのか。

事務局 時代の変化とともに、新たに支援が必要な対象が出てくるかもしれないので、高齢者だけではなくなるかもしれないという意味で「高齢者等」と表している。

ウ 施策111と施策114の内容は、どちらも高齢者に関する施策だと思うが、分けた理由を教えてほしい。

事務局 施策を課ごとに設定しているためである。施策111は福祉総務課担当、施策114は介護保険課担当である。

エ 施策114について、在宅介護の支援については項目立てしないのか。

事務局 介護に関する具体的な取組みは、実行計画で記載することになる。

オ 介護人材不足に対してもっと具体的な取組を考えるべきである。

カ 施策114には、地域包括ケア事業のことを記載した方が良いと思う。

キ 施策113に「障害児」とあるが、今後10年を見据えて、子どものことは将来像2に含めることを検討した方が良い。

ク 施策113について、障害者や障害児に対する支援だけでなく、本人を支える家族に対しての取組も載せてほしい。

ケ 施策114の介護人材の確保について、人材確保は難しいと思うので、AIなどを活用する取組を記載した方が良いと思う。

コ 施策111の③の中で、孤独死を防ぐために近所づきあいなど「地域の見守り」

の重要性を記載するべきだと思う。

サ 施策１２２について、前回までの施策名は「公的医療保険制度の適切な運営」で、今回は「社会保険の適切な運営」となっている。違いとどちらにするのかを教えてください。

シ 施策１２１「ライフコースアプローチ」について聞きなれない言葉なので、注釈を入れるのではなく、タイトル自体を変えるべきだと思う。

ス 施策１２２の①について、マイナ保険証の利用は手段であるので、それによってどのようなメリットがあるのか、目的を記載するべき。

セ 施策の方向性について、国や他市と同様のものか、それとも清瀬市独自のもののものか。

事務局 施策の方向性については、他市と差異は小さいかもしれないが、実行計画では清瀬らしさも出せると思う。

ソ 施策１３２の①について、自治会の組織率は低いときいているが、項目出しして大丈夫か。自治会組織を支援するのであれば相当時間をかける必要がある。

タ 施策１３２の①について、自治会として繋がっているのは全体の３分の１。発信だけでも意味がないのでは。

チ 施策１３２について、地域を活発化していく人の次世代の担い手として、子どもたちに対する取組も必要かもしれない。

ツ １３２の⑤について、ピースエンジェルズ事業に、中１のときに実際に参加したが良い取組だった。平和の大切さ学べたので続いてほしい。一方で、ピースエンジェルズ事業に参加できるのは１０人くらいで、限られた人数なので、もっと広い範囲でやると良いと思う。

テ １３２の施策の名称が長い。()の中身が多すぎるので、全体を包括するようなまい文言はないか。施策の方向性をみると、一つにまとめるのは難しいと思うが、①～③は市民、④～⑥啓蒙的なものであることを意識して考えると良いと思う。

ト 施策２１１の子育ての支援、待機児童のことが真っ先にきているが、待機児童対策は一定の成果があったと捉えている。子ども基本法やはじめの１００か月の考え方も盛り込まれていないので、２１１についてはもう一度全て見直すべきだと思う。また、施策２１２について、子どもの居場所、中学生時代までのサポートはあるが、それ以降はどこで支援するのか整理がされていない。０～１８まで、学校ごとに区切るのではなく、包括的に支援していくべきだと思う。

ナ 施策名「家庭に関する相談の支援」が、施策の方向性「子育てに関する様々なサービスを充実します」へ言葉として結びつかない気がする。

ニ 施策２１１の③の内容が目標みたいになってるので、修正するべき。

ヌ 施策２１１の１０年後の姿に、「この地域で子育てすることに喜びを感じるようになります。」とあるが、施策の方向性に、喜びを感じるようなものがないので、１０年後の姿の文章を変えた方が良いと思う。

ネ 施策２２２について「～育成します」が続いていて違和感があるので、表現を検討してほしい。

- ノ たしかな学力を育成しますは、教員の指導力が直結している。教員の指導力だけでなく、教員力（人間性も含めた）を育てる項目があると良い。また、方向性⑤について、食育は、老朽化の問題ではなく、健やかな体を育てていくためにあると思うので、③に含めるのが適当だと思う。
- ハ 教員の数とスキルにバラツキがあるので、教育に格差があるのだと思う。良い学校を作るためには、教員の労働環境を整えるべき。
- ヒ 「子どもの居場所」については色々な施策の中にあるが、連携や統合などをして整理するべき。
- フ 子ども食堂についてはどこに入るのか。
- 事務局 子ども食堂については施策212に記載する。
- ヘ 行政側は難しい言葉を使うが、施策は見るのは市民。専門的な用語をどれだけかみ砕いて市民に説明できるかが重要。注釈で表現するのではなく、そのもの自体をわかりやすくするべきだと思う。
- ホ 子どもが自ら相談できる場所はどこにあるのか。子どもための施策だが、大人目線のものが多い。例えば、中学生たちが見たときに、行き場がないと思わせないような書きぶりにしてほしい。
- マ 産後うつ、ネグレクト、DVなど、目に見えないことで困っている人もいる。手を借りたくても借りられない人への施策も必要だと思う。
- ミ 施策221の方向性⑤について、子どもSOS運動、農作業時の子ども見送り隊など、清瀬の農業者などの環境を活用していることを表記してほしい。
- ム 継続しているのと、新しくトライしているのを分けて表記するべき。また、少子化の対策が施策に盛り込まれていない
- メ 表現について、「少子化対策」と表記すると、子ども産めと捉えられてしまう人もいるので、「子育て支援」等の記載になる。
- モ 広義の少子化対策はあっても良いかもしれないが、子ども産みたいを思っている人が、理想の人数を育てられるようにという支援が必要だと思う。

（５）その他

事務局から、今後のスケジュールについて伝え、閉会となった。